
基礎老化学会サーキュラー 第 118 号

日本基礎老化学会 Japan Society for Biomedical Gerontology

2022年2月22日 発行



第5波、第6波といつまでも収束を見せないCOVID 19のため、どの学会も年会やシンポジウムの形式が変わらざるを得ない状況になっています。さて、日本基礎老化学会でも今年7月に開催される第45回日本基礎老化学会大会(京都市)の演題申込、参加申込が開始されました。ウイルスに負けない活発な議論・討論を通して、みなさまのこれからの研究が大きく進展するよう、ぜひ積極的にご参加ください。また、昨年9月より事務局が外部委託になり、会員マイページの運用が始まりました。これからも引き続きご支援をお願いするとともに、会員マイページからお気軽に学会改革へのご意見・ご要望を事務局にお寄せ下さい。

庶務理事 三浦 ゆり

【目次】

1. Topics

- ① 学会事務局の外部委託と会員マイページの運用始まる
- ② 第2回 市民フォーラム・第42回日本基礎老化学会シンポジウム開催される
- ③ 第45回(2022年)日本基礎老化学会大会の演題申込・参加申込が開始
- ④ 第44回(2023年)日本基礎老化学会シンポジウムの世話人決定
- ⑤ 第47回(2024年)日本基礎老化学会大会の大会長決定
- ⑥ 来年度も会議はオンライン開催に

2. 議事録

- ① 2021年度 第3回 理事会議事録
- ② 2021年度 第4回 理事会議事録
- ③ 理事会メール審議議事録

3. 事務局からのお知らせ

4. 日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定

5. 会員動向

6. 賛助会員一覧

1. Topics

① 学会事務局の外部委託と会員マイページの運用始まる

2021 年 9 月 1 日から学会事務局が株式会社毎日学術フォーラムに委託され、学会住所が変更になりました。

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋一丁目1番1号

株式会社毎日学術フォーラム（担当：北川）

また 2021 年 9 月 1 日より学会バンクが導入され、学会員の会員マイページの運用が始まりました。今後、所属や登録メールアドレスの変更、退会等の手続きは、会員マイページから随時行っていただきます。

② 第 2 回市民フォーラム・第 42 回日本基礎老化学会シンポジウム開催される

2021 年 11 月 27 日に第 2 回市民フォーラム、28 日に第 42 回日本基礎老化シンポジウムが山陽小野田市（世話人：嶋本顕評議員・山口東京理科大学）にて開催されました。新型コロナウイルスが束の間の収束を見せる中、市民フォーラムは対面開催で 200 人以上の参加者が、またシンポジウムはオンラインとのハイブリッド開催で約 70 名の参加者がありました。

③ 第 45 回日本基礎老化学会大会の演題申込・参加申込が開始されました

2022 年 1 月 25 日より、第 45 回日本基礎老化学会大会（京都テルサ）の演題申込と参加申込が開始されました（大会長：細川昌則評議員・京都光華女子大学）。演題申込締切は 3 月 11 日（金）です。また、事前参加申込は 6 月 30 日までです。皆様奮ってのご参加をお待ちしています。
詳細はホームページからご確認ください。

<https://www.jsbmg.jp/2022jsbmg/index.html>

④ 第 44 回日本基礎老化学会シンポジウムの世話人が決定しました

第 44 回日本基礎老化学会シンポジウム（2023 年）の世話人が、森亮一評議員（長崎大学）に決定しました。

⑤ 第 47 回日本基礎老化学会大会の大会長が決定しました

第 47 回 日本基礎老化学会大会（2024 年）の大会長が、福井浩二理事（芝浦工業大学）に決定しました。

⑥ 来年度も会議はオンライン開催になりました

来年度も理事会、評議員会、総会の開催形式は、原則としてオンライン開催とすることが決まりました。

目次へ

2. 議事録

① 2021 年度 第3回日本基礎老化学会理事会議事録

日 時：2021 年 12 月 7 日（火）10:00 - 12:00

開 催：WEB 開催（ZOOM）

出席者：石神、石井、内田、遠藤、柿澤、杉本、千葉、福井、丸山、三浦（理事）、大澤（監事）、森、安田（理事補佐）

欠席者：細川（監事）

I. 審議事項

1) 法人化について

事務局の外部委託が終わり、今後、学会の法人化に向けた手続きに進むかどうか審議した。

まず、法人化についてのこれまでの経緯について 2019 年度第 5 回理事会議事録を元に、三浦庶務理事より説明があり、その後、意見交換を行った。

- ✓ 法人化のメリット：社会的信用の向上、日本老年学会の他学会と横並びになる
- ✓ 法人化のデメリット：設立コスト、運営コストともに費用がかかる
- ✓ 法人化してから大会会計を一本化するという順序ではないのか
- ✓ 大会会計の一本化と法人化は、別に議論することにしたい
- ✓ 老年学会の中で法人化されていないのは基礎老化学会だけ
- ✓ 法人化手続きをペンディングにするなら、議論を再度始めるための条件を明確にするべき
- ✓ 学会員が 500 人を超えることが議論を始めるための 1 つの条件となるのでは
- ✓ 法人化が、学会員のためになるのかどうか議論すべき
- ✓ 会員数が多くても、会員へのメリットを考えて法人化していない学会もある
- ✓ 会員が増えてから法人化の議論するのが妥当

→ 法人化については今後も継続審議にする

→（採決）現時点で法人化することに賛成かどうか

賛成 1 反対 5 無回答 2 （総数 8）

→ 現時点では法人化に向けた手続きをペンディングとする。

2) 大会会計の取扱いについて

大会の開催に費用がかかり、大会長に財政的な負担がかかっている現状を打開するため、大会会計を学会会計に含め、赤字が出た場合は学会から補填する、という案について話し合った。

事前に行った「大会会計を学会会計に含めるべきか」「赤字が出た場合に学会が補填すべきか」に関する意見集約、及び2013年～2020年までの大会会計の収支報告のまとめが資料として提示され、石神理事長が説明した。

- ✓ 財政的な理由から大会長のなり手がいない状況に陥っているので、この状況を何とかしたい
- ✓ 大会を学会会計に含めてしまうと、学会（理事会）が大会を管理することになりかねない
- ✓ 大会のイベント中止などを、理事会が指示できるようになるのではないかと
- ✓ 学会が会計を管理することは、会計の透明化、運営費のセーブに繋がり、最終的に会員のためになると考える
- ✓ 学会が赤字を補填するにしても、持続可能なシステムにしないといけない（学会に財政的な余裕はない）
- ✓ 学会のバックアップがあれば安心して大会長を引き受けられる
- ✓ 学会が資金集めに協力することも必要なのでは
- ✓ 大会を開いて会員間の交流を深めることは学会活動として最も重要であるので、お金をかけずに大会を開く工夫も必要
- ✓ 会員の年会費を大会の赤字補填に使う場合は、改めて議論が必要
- ✓ 赤字を補填するならば、学会としての収入を増やすことが必要（会員や賛助会員）
- ✓ 大会抄録号の印刷費として既に20万円補助している。現状では、それにどれだけ上乗せできるか、という状況
- ✓ 大会会計を学会会計にまとめるのではなく、大会長の経費負担を下げるためと言うことがメインであれば、負担できる範囲の持続可能な額を大会抄録号の印刷費プラスアルファという形で学会が大会に補助するのもよいのではないかと

→ 本件は継続審議にする。意見は石神理事長へ

3) 細則・内規などの加筆修正について

○事務局の外部委託と学会バンク導入に伴い、細則・内規の加筆修正を行った。

- ✓ 事務局の外部委託に伴う修正及び公印の押印記録に関する加筆
事務局運営内規第3条に加筆、第6条に加筆
(採決) 賛成 8 反対 0 (総数 8) → 承認された
- ✓ 学会バンク導入に伴う手続きの修正
運営細則1-1の修正
(採決) 賛成 8 反対 0 (総数 8) → 承認された

[目次へ](#)

○日韓合同シンポジウムに関する覚書(2019年)について情報共有するため、新たに「日韓合同シンポジウム内規」を追加した。3カ所の文言の修正後、内規について採決を行った。

✓ 日韓合同シンポジウム内規

(採決) 賛成 8 反対 0 (総数 8) → 承認された

○ホームページに記載されている組織図の見直しを行った。

1カ所の修正後、組織図について採決を行った。

✓ 組織図

(採決) 賛成 8 反対 0 (総数 8) → 承認された

2. 報告事項

1) 第9回日本老年学会あり方委員会について、石神理事長から報告があった。

○高齢者定義検討WGメンバーについて

基礎老化学会からは、下澤達雄氏(国際福祉医療大学)を推薦した。第1回WGは12月7日に開催される予定である。

○日本老年学会の英語表記について

あり方委員会での投票では、The Japan Federation of Gerontological Societies(JFGS)が賛成多数であった。2022年1月29日の日本老年学会理事会に諮り、承認されれば決定となる。

○日本老年学会理事の定員について

理事の定数の半分を各分科会に分配し、残りの半分は各分科会の会員数に応じて配分することとした。基礎老化学会の理事数は、現在は5名であるが改定後は4名となる。会員数の少なさから考えると妥当と考え、この案に賛成した。

2) 基礎老化学会あり方委員会報告

石神理事長から、「日本基礎老化学会」という名称について、臨床分野の研究者も入会しやすい名称に変更する必要があるかどうか、あり方委員会に諮問した経緯について説明があった。

遠藤委員長より、あり方委員会での意見交換について報告された。あり方委員会の意見としては、変更の必要はない、という結論となった。理由は、40年以上の歴史があり認知度も高い、また、広い分野をカバーしている学会なのでこれに代わるよい名称が思い浮かばない、などであった。今後も、これについての議論は継続する。

3. その他

1) 名誉会員の推薦について

石神理事長より、名誉会員推薦について依頼があった。理事及び評議員に対してメールで推薦のお願いを送り、来年1月の理事会、7月の総会で承認され決定される。推薦する場合は、事前に本人の内諾を取るようにとのことであった。

2) 2024年の大会長、2023年のシンポジウム世話人について

石神理事長より、第47回(2024年)の大会長、第44回(2023年)のシンポジウム世話人の立候補・推薦について依頼があった。推薦する場合は、事前に本人の内諾を取るようにとのことであった。

3) 次回は1月末くらいに開催される予定。

② 2021年度 第4回日本基礎老化学会定例理事会議事録

日 時：2022年2月1日(火) 10:00~12:00

開 催：WEB開催(ZOOM)

出席者：石神、石井、内田、遠藤、柿澤、杉本、千葉、福井、丸山、三浦(理事)、大澤、細川(監事)、安田(理事補佐)、北川(毎日学術フォーラム)

欠席者：森(理事補佐)

理事10名全員の参加により本会は成立と認められた。

最初に石神理事長が挨拶し、事務局外部委託先担当者・北川さんの紹介があった議事：

I. 報告事項として以下の報告があった

1) 三浦庶務理事が議事録を報告した

第2回定例理事会、第3回臨時理事会、メール理事会、メール評議員会

2) 内田会計理事が会計中間報告を行った

✓ 事務委託経費は現時点で9月分だけなのか

→ 支払いは4~9月分、10~3月分の2回なので、今回は9月分のみ

3) 丸山大会長が第44回(2021年)日本基礎老化学会大会を報告した

4) 石神理事長が第42回(2021年)シンポジウム・市民フォーラムを報告した

5) 細川大会長が第45回(2022年)日本基礎老化学会大会準備状況を報告した

✓ 演題登録と参加登録について会員一斉メールで案内しているか

→ 今後、会員一斉メールで知らせる

6) 石神理事長が第43回(2022年)シンポジウム準備状況を報告した

7) 石神大会長が第46回(2023年)日本基礎老化学会大会準備状況を報告した

8) 石井委員長が編集委員会報告を行った

✓ 自由投稿について投稿料はどうなっているか(査読者に報いるため、不適切な投稿を防ぐため)

→ 編集委員会では理事会で議論して欲しい旨の意見があった

→ 投稿料・査読者への謝礼の具体的な金額や方法を編集委員会で議論してから理事会へ

9) 杉本委員長が広報・HP 委員会報告を行った

10) 柿澤委員長が学術交流委員会報告を行った

✓ テーマ案 a)2 が採択される可能性が有望

✓ テーマ案 a)2 は前回のテーマに非常に似ているのではないか

→ 内容は前回とは違う視点で企画する予定であり、具体的テーマ名は変更する予定

11) 石神理事長が老年学会理事会報告を行った

12) 千葉理事が老年学会将来計画委員会報告を行った

✓ 2029 年 IAGG を京都に誘致するため、外国の IAGG councilor の知り合いがいたら京都に投票してもらうようお願いする

13) 石神理事長が老年学会あり方委員会報告を行った

14) 三浦庶務理事が第 34 回（2025 年）日本老年学会総会会長候補推薦委員会報告を行った

15) 石神理事長が第 1 回高齢者に関する検討 WG 報告を行った

2. 審議事項について

1) 第 44 回（2021 年）日本基礎老化学会大会 会計監査について

✓ いくつか不備な点があったが会計は適正に使用されていた

✓ 不備な点は文書として記録した方がよい

→ 監事の意見等は文書として理事会に提出する

→ 承認 10 不承認 0 で承認された

2) 第 42 回（2021 年）シンポジウム・市民フォーラム 会計監査

✓ 記載の仕方に問題がある点もあったが会計は適正に使用されていた

✓ 税金の記載方法等不備があった

→ 承認 10 不承認 0 で承認された

3) 名誉会員の推薦について

✓ 相垣先生について

→ 承認 10 不承認 0 で承認された

✓ 海野先生について

→ 承認 10 不承認 0 で承認された

✓ 樋口先生について

→ 承認 10 不承認 0 で承認された

○評議員会での承認を経て、来年度より名誉会員となる

○第 45 回大会で紹介する 総会（WEB）あるいは懇親会

4) 第 44 回（2023 年）シンポジウム世話人について

石神理事長がシンポジウム世話人に森亮一先生（長崎大）を推薦した

目次へ

→ 承認 10 不承認 0 で承認された

5) 第 47 回 (2024 年) 日本基礎老化学会大会長について

石神理事長が大会長に福井浩二先生 (芝浦工大) を推薦した

→ 承認 10 不承認 0 で承認された

3. その他

1) 山田科学振興財団研究援助学会推薦について応募がなかった旨、報告された
推薦枠を確保するため、応募して欲しい

2) 日本学術会議協力学術研究団体 (学会名鑑) のデータ更新について報告された

③ 理事会メール審議議事録 (来年度理事会等の開催方法について)

日 時: 2021 年 12 月 23 日 (木) ~ 12 月 28 日 (火)

参 加 者: 石神、石井、内田、遠藤、柿澤、杉本、千葉、福井、丸山、三浦

2022 年度 会議の開催形式について

5 月または 6 月 理事会 web 会議

5 月または 6 月 評議員会 web 会議

5 月または 6 月 総会 web 会議

7 月 26 日 (火) 臨時理事会 (京都) を開催 (京都駅周辺で会議室を予約)

2023 年 1 月 理事会 (東京) 老年学会開催日と同日

上記の提案について承認の可否を投票した (投票数 10 票)。

承認する 10 票

承認しない 0 票

→ 来年度の理事会等の開催形式は、原則として web 開催とすることが承認された。

[目次へ](#)

3. 事務局からのお知らせ

会員事務、学会事務等についてのお問い合わせは、日本基礎老化学会の会員マイページにログインし、「事務局へのお問い合わせ」フォームにご記入のうえ送信して下さい。本学会をより良いものにするためには会員の協力が不可欠です。学会への要望等についても遠慮なく事務局にお寄せください。お待ちしております。

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F

(株)毎日学術フォーラム内

日本基礎老化学会事務局

E-mail: secretariat@jsbmj.jp

Fax: 03-6267-4555

【日本基礎老化学会入会のご案内】

入会希望の方は、日本基礎老化学会 web site (<https://www.jsbmj.jp/contact/>) 「入・退会ご案内」のページをご確認の上、入会申込フォームから入会手続きを行って下さい。一般会員として入会する場合は、入会手続きと年会費の納入、学生会員として入会する場合は、入会手続きと学生であることの証明（学生証の呈示など）をもって入会申込完了となります。

【会費納入のお願い】

会費は正会員が 7,000 円（理事 15,000 円、評議員 10,000 円）、学生会員は無料（2021 年 4 月 1 日から）です。未納分については、会員マイページでご確認下さい。その他ご不明な点は、事務局（secretariat@jsbmj.jp）にお問い合わせください。
※学生会員は、年度初めに学生であることを証明できる書類を提示してください。

【クレジットカード決済】

2022 年度の年会費からクレジットカード決済が可能になります。

会員マイページにログインし、年会費納入を行って下さい。

【銀行振込の場合】

銀行振込の場合は、振込者の名前が事務局に通知されません。お手数ですが、振込んだ際には事務局にお知らせください（secretariat@jsbmj.jp）。

三菱 UFJ 銀行（銀行コード 0005）

大山支店（支店番号 187）

普通 0559515

名前（口座使用者）：日本基礎老化学会

[目次へ](#)

【基礎老化研究誌講読について】

学会年会費には、簡易印刷版（白黒版）基礎老化研究誌購読料が含まれています。フルカラー版は学会 HP からダウンロードしてご利用ください。全会員にはパスワードを配布しています。パスワードが不明の方は事務局（secretariat@jsbmg.jp）にお問い合わせください。

【日本基礎老化学会の賛助会員のご案内】

日本基礎老化学会では、科学研究を通じて高齢化社会に寄与することをめざしています。学会の活性化や会誌の充実に努め、さらに、その基盤の強化をはかるべく、個人や企業を対象にして広く賛助会員を募っています。会費は一口、年 5 万円です。賛助会員には以下の特典があります。

- （１） 学会誌「基礎老化研究」冊子体を毎号お送りいたします。
- （２） 「基礎老化研究」に広告（A4 半ページ）を年 3 回無料で掲載します。

賛助会員の詳細は学会事務局にお問い合わせください。

【基礎老化研究誌への広告掲載について】

基礎老化研究誌では広告を募集しています。

1 ページ 5 万円で年 3 回掲載します。ご希望の方は学会事務局にメールにてお問い合わせください。

【メールアドレス、所属等の変更、休会、会費等】

メールアドレス、所属、住所等の変更は、会員マイページにログインし、「登録情報」の編集を行って下さい。休会、会費、その他ご不明な点は、遠慮なく事務局（secretariat@jsbmg.jp）にお問い合わせください。

【退会について】

退会の処理を適切に行うために、下記の事項をお守りください。

- ・ 退会の際は、日本基礎老化学会のマイページにログインいただき、【事務局へのお問合せ】のお問い合わせ内容に、1.氏名、2.ご所属、3.連絡先（E メール）、4.退会理由、をご記入の上、日本基礎老化学会事務局にお送りください。
- ・ 日本基礎老化学会の会計年度は 4 月 1 日～3 月 31 日となっています。従いまして、退会時が年度の途中の場合でも、その年度の年会費はお支払いいただくことになりますのでご了承ください。
- ・ 大学等の研究室を離れた会員については、上司や指導教官から事務局へご連絡いただけると大変助かります。

4. 日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定

年会

2022 年

第 45 回 日本基礎老化学会大会

大会長：細川 昌則（京都光華女子大学）

日時：2022 年 7 月 27 日（水）28 日（木）

場所：メルパルク京都（京都市）

演題募集中

<https://www.jsbmg.jp/2022jsbmg/index.html>

2023 年

第 46 回 日本基礎老化学会大会（第 33 回日本老年学会総会 7 学会合同会）

大会長：石神 昭人（東京都健康長寿医療センター）

日時：2023 年 6 月 16 日（金）～18 日（日）

場所：パシフィコ横浜ノース（横浜市）

2024 年

第 47 回 日本基礎老化学会大会

大会長：福井 浩二（芝浦工業大学）

シンポジウム

2022 年

第 43 回 日本基礎老化学会シンポジウム

世話人：小野 悠介（熊本大学）

日時：2022 年 11 月 19 日（土）

場所：熊本大学工学部百周年記念会館（熊本市）

2023 年

第 44 回 日本基礎老化学会シンポジウム

世話人：森 亮一（長崎大学）

関連国際学会

2022 年

The 22nd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2022)

Date: June 12-16, 2022

In Virtual Format

<https://iagg2022.org/home-site/>

2023 年

IAGG2023 Asia/Oceania

Date: June 12-15, 2023

Place: Pacific Yokohama North (in Hybrid Format)

http://geront.jp/iagg/pdf/iagg2023_bid_for_yokohama.pdf

2025 年

The 23rd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2025)

Date: August 3-7, 2025

Amsterdam, Netherland

老化関連の国際会議や海外の老化研究施設をまとめた web site があります。

留学先や海外で開催される老化研究関連学会を探すのにご利用ください；

JenAge Information Center

<https://www.zaj.uni-jena.de/aktuell/aging+meetings+kalender>

5. 会員動向（2022 年 2 月 22 日現在）

正 会 員： 240 名

学生会員： 34 名

合 計： 274 名

賛助会員： 6 団体

[目次へ](#)

6. 賛助会員一覧

下記の諸団体が賛助会員として本学会を支えています。協力を感謝いたします。
賛助会員は随時募集しております。事務局にお問い合わせください。
あなたの会社も賛助会員として老化研究を支えてみませんか？
入会をお待ちしています！

ココロ力株式会社

小林製薬株式会社

大正製薬株式会社

東洋レヂン株式会社

日本水産株式会社

(株) ファンケル総合研究所

[目次へ](#)



日本基礎老化学会サーキュラー 第 118 号

2022 年 2 月 22 日発行

日本基礎老化学会

企画・発行 日本基礎老化学会事務局

(編集 三浦ゆり)

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋一丁目 1 番 1 号

株式会社毎日学術フォーラム内

Web site: <https://www.jsbmg.jp/>

E-mail: secretariat@jsbmg.jp